



John Krung

ジョン・ケニー
2009-10年度国際ロータリー会長



No. 4 0

Takasago Rotary Club

週報

高砂

クラブ会長方針

- ①和の心を大切に
- ②委員会事業の見直しと長期計画の検討
- ③時間を大切に

例会記録 (2010. 5. 7 (金)) 通算2,801回

◆開会

◆国歌斉唱

君が代

◆唱歌

ロータリーソング (奉仕の理想)

◆ゲスト紹介

森はなの伝記を「NHK朝ドラへ」の会 会長 西尾真理様

◆来訪ロータリアン

姫路西R.C 松尾京一会員

三木R.C 矢野謙会員

高砂青松R.C 田中伸明会員

◆プログラム予定

5月14日 (金)	5月21日 (金)	5月28日 (金)	6月4日 (金)
職場例会 三菱重工業株式会社 原動機本部高砂製作所 12:30~14:00	卓話 RYLAセミナー 受講者 佐藤友美様	クラブフォーラム 委員会引継ぎ 卓話 片嶋純雄会員	クラブフォーラム 事業報告

◆出席報告

本日 5月 7日 会員数48名 出席者42名 出席率95.4%
前々回 4月16日 会員数48名 欠席者 0名 出席率100%

◆MAKE-UP

寺崎 道雄会員	e-CLUB	4月23日
大久保義郎会員	e-CLUB	4月23日
砂川 次善会員	e-CLUB	5月 7日
桂田 重信会員	高砂青松R.C	4月23日
丸山 恵右会員	e-CLUB(5/7)	5月 5日
丸山 恵右会員	e-CLUB(5/14)	5月 5日
小林 尚人会員	e-CLUB	4月25日
桂田 重信会員	地区大会(4/10)	2月27日
桂田 重信会員	e-CLUB(5/21)	5月 6日
妹尾 敏昭会員	e-CLUB	2月11日

◆お祝い

○出席100%祝

田中 泰生会員 4年
妹尾 敏昭会員 2年

○誕生日祝

尾上 喜秀会員 籠谷 啓一会員
庄司 治会員 丸山 恵右会員
信原 智彦会員

○配偶者誕生日祝

井上 久美様 狩野 千香様
伊藤 淳様

○結婚記念祝

後藤 純次会員 中野 哲郎会員
松田 怜会員 中尾 康三会員
覚野 成広会員 西田 秀雄会員
田中 泰生会員 後藤 武男会員



出席100%祝
4年 田中会員 2年 妹尾会員



誕生日祝
尾上会員 籠谷会員 庄司会員 信原会員

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

松田 怜会員……後藤院長にはお世話になり有難うございました。
中野 哲郎会員……16年前の今日です。
桂田 重信会員……長女が5月15日に結婚します。
荒川 俊雄会員……本日卓話をさせていただきます。よろしくお願ひ致します。
片嶋 純雄会員……ロータリー旗と国旗の位置を間違っております。申し訳ございません。
田中 泰生会員……出席100%祝、結婚記念祝を頂いて。
妹尾 敏昭会員……出席100%祝を頂いて。

尾上 喜秀会員……誕生日祝を頂いて。
籠谷 啓一会員……誕生日祝を頂いて。
信原 智彦会員……誕生日祝を頂いて。
庄司 治会員……誕生日祝を頂いて。
井上 慶治会員……配偶者誕生日祝を頂いて。
狩野 雄作会員……配偶者誕生日祝を頂いて。
伊藤 輝彦会員……配偶者誕生日祝を頂いて。
西田 秀雄会員……結婚記念祝を頂いて。
松田 怜会員……結婚記念祝を頂いて。
覚野 成広会員……結婚記念祝を頂いて。
後藤 純次会員……結婚記念祝を頂いて。
中野 哲郎会員……結婚記念祝を頂いて。
後藤 武男会員……結婚記念祝を頂いて。
田中 泰生会員……結婚記念祝を頂いて。
中尾 康三会員……結婚記念祝を頂いて。
早退2名

◆会長の時間

最近睡眠時間が3時間前後という生活が続いています。

と申しますのは、色々な当て職の報告書作成に追われるこの時期に、たまたま来週の土曜日曜と二日間、茶道関係の近畿地区大会が2500名動員されて東播地区で開催され、加古川市民会館と加古川総合庁舎やプラザホテルを会場におこなわれ、私も準備の金曜日朝から3日間、ホテルに缶詰めで茶会のお世話をさせていただきますが、その打ち合わせや準備作業に忙殺され、本業の仕事は夜中に埋め合わせしています。

この大会は毎年京都、大阪、神戸、奈良など大都市で行われ東播地区が担当するのは初めてで、1000名の会食が可能な懇親会場や150人収容の茶会会場3か所以上の確保が不可能で、大型プロジェクターやスクリーンも手配が出来ずあらゆる作業の縮小再構築から始めなくてはなりませんでした。

今回この大会の準備を通じて大いに納得したのは、いつもロータリー・クラブの地区大会が姫路や淡路でなく神戸で行われ、姫路のガバナーでも神戸で開催されるのに違和感を感じて来ましたが、なれたポートピアホテルでお願いするとすべての設営が例年と同じように運営されるので準備の苦労がほとんどなく、カリキュラムの企画運営に集中できるので、無理のない話だと得心させられました。

今回の事業は6年越しの懸案で、運営する支部役員約30名の仕事は実に膨大で、零からはじめたスタッフの苦労は並大抵ではございませんでした。予算も会場費や諸費用の単価は地方の利点で安く収まるのですが、不足分のレンタルなど思いもかけない出資がかさんできました。

こうした多くの会員が集まる大会はロータリー・クラブでもたびたびありますが、本当に必要なものか、会員が喜んで参加しているのか、再考する時期に来ていると思います。

これもバブルの残骸で、もう少し効率よく実効性のある大会（喜んで参加したい大会）というものを模索する時期に来ているように思います。

但し今回のこうした活動が支部の能力を大きく引き出しているのも事実で、地方で大会を行い、成功すれば地方組織の活性化や増強に大いに貢献しているのは否めないと思います。

